

解説サンプル
タイプ ③
詳細な分析による解説

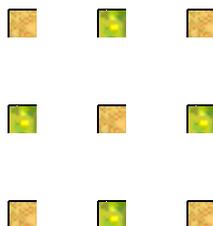
対象：クライアント様
開発者様

アナリ－ゼ
波動分析報告書／解説

《☆☆ハーブティー》

20**年**月**日

株式会社 ○○○○○ 様



アクアタック研究室
代表／片岡 章

〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北 3-8-11-401

Tel, Fax : 03-3480-9618

E-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

HP : <http://www.aquatack.com>



- ◆ 当報告書は、《☆☆ハーブティ》の“**波動エネルギーによる作用**”に関するものです。
“物質としての作用”に関しては、従来の化学分析などからご判断ください。
また、**効能を保障するものではなく**、波動値から導かれる**ひとつの見解・解釈**を記したものであること、ご承知おきください。

【解説の要約】

《☆☆ハーブティ》の波動に関する作用・特徴は以下のとおりです。
詳細については、次ページ以降をお読みください。

I. 作用する波動帯域 (波動の高さ から見た特徴)

1. 精神波動の帯域を活性化し、2次的、3次的に、感情や身体の波動をコントロールする。
2. 自然食品店などに置かれている食品・サプリメントのなかでも、平均より少し高い波動のものを求める人に支持されやすい

II. 作用の特徴・パターン (項目間の数値の違い から見た特徴) — 上記の波動帯域における働きとして —

1. 項目間格差によるリスクがなく、誰もが安心して使用できる
2. 際立った特徴
毒素波動を解消し、デトックスする
慢性関節リウマチなどの免疫系疾患に対応する
.....

I. 作用する波動帯域 (波動値の高さ から見た特徴)

最大値 = S +64.5 平均値 = S +61.9 最小値 = S +58.2

1. 《活性度》… 波動値の高さ

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 「測定値から導かれる指標（統計量）」
> 1. 《活性度》… 波動値の高さ
- ▶ 添付資料『物品・製品の波動値（人への作用）』（波動値の高さの意味）

一般に、波動の高低による違いは、つぎのように捉えることができます。

波動が高い … 周波数が高く、振動が微細で活発。活性度が高い。
より精神的。深く、根本的な作用。

波動が低い … 周波数が低く、振動が緩やかで不活発。活性度が低い。
より物質的。浅く、対症的な作用。

ただし、使用する人がその波動に共鳴しない（惹かれない）場合は、これらの働きを享受することが難しいです。

この前提から、《☆☆ハーブティー》については、下記の作用^{メカニズム}機序が想定されます。

- 精神波動の帯域を活性化する。
- 2次的に、感情波動（好き／嫌い、損／得など）をコントロールし、3次的に、身体（生命）波動をコントロールする。
- これらを総合した作用として、感情波動のアンバランスに起因する、心理面や人間関係上の問題・身体的不調などの解消を助ける。

2. 世間の製品のなかでの位置

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 「世間の製品の状況 I 《活性度（波動値の高さ）》」

「世間の製品の状況 I」には、自然食品店で扱われている食品・サプリメント等の波動の高さとして、平均値を中心に、約 70%が分布する範囲を図示してあります。

このなかで《☆☆ハーブティー》の平均値 S +61.9 を見ますと、これらの平均付近に該当することがわかります。ここから、自然食品店などが扱うハーブティーのなかでも、最も需要の多いものであると推測することができます。

Ⅱ. 作用の特徴・パターン (項目間の数値の違い から見た特徴)

〔Ⅰ. 作用する波動帯域〕に見られた“波動値の高さによる評価”はひとつの重要な観点ですが、同時に、“項目間の波動値の違いによる評価”も欠かせません。以下は、この後者の詳細を記したものです。

これら双方の観点を併用することにより、製品の特徴を立体的に捉えることができます。

1. 《安心度》… バランス

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』> 「測定値から導かれる指標（統計量）」
 > 2. 《安心度》… バランス
- ▶ 『波動分析報告書／測定値』> 「世間の製品の状況Ⅱ 《安心度（バランス）》」

一般に、項目による数値の違い（ばらつき）は、つぎのような性質を示唆しています。

数値間格差が小さい（《安心度》が高い）

全体的に一様に働く
そのため、適／不適のリスクも小さい
食品的な働き方

数値間格差が大きい（《安心度》が小さい）

波動値の突出した項目に示される働きが鋭い
そのため、適／不適のリスクが大きい
医薬品的な働き方

《☆☆ハーブティー》の《安心度》は 9.49 でした。

ここから、前述の“波動の高さ”による“共鳴する／しない”はあるにせよ、誰もが安心して使用できる製品、といえます。

2. 際立った特徴

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』> 測定値の表（57 項目）

すでに、57 項目すべてが高値を示しており、いずれについても、優れた働きが期待できます。

したがって、[糖尿病]にも、あるいは、[心臓] [心不全]の数値から推して、高血圧を含む循環器系疾患にも、好作用があるものと考えられます。

ところが、下記のように高い数値から順に並べ替えたところ、これらをさらに上回る働きが浮上しました。つぎに、その特徴を見ていきます。

[副交感神経] [一般毒] [炎症性リウマチ] [免疫機能・恒常性] [放射線障害・毒素]
[腸内細菌叢] [リンパ球] …¹

ここで、ごく簡単な見方をするならば、波動値の高い項目ほど働きが大きい、という判断になります。

しかし、単独の項目ではなく、関連する複数項目の間での符合・一致を見ることにより、確率的に、一層確かな特徴・傾向を浮かび上がらせることができます。

以下は、そのようにして導き出したものです。なお、特徴・傾向は、概ね、働きが大きいと考えられるものから順に記してあります。各見出しの下に併記されているのは、その根拠となった [項目] です。

1) 毒素波動を解消し、デトックスする

[副交感神経] [一般毒] [放射線障害・毒素] [腸内細菌叢]

2) 慢性関節リウマチなどの免疫系疾患に対応する

[炎症性リウマチ] [免疫機能・恒常性] [リンパ球]

3)

[.] [.]

参考にした資料

■ 慢性関節リウマチ

『.』 / 著、. . . 社

¹ たとえば、[ストレス] は“ストレス（の波動を解消する力）”を、[糖尿病] は“糖尿病（の波動を解消する力）”を意味しています。つまり、プラス値であれば、“その波動を解消する力がある”ことになります。このように、いずれの項目も、プラス値は、「望ましい波動がどれくらい活性化しているか」を示しています。